

令和元年8月30日(金)
国民健康保険運営協議会資料

平成30年度 主要施策の成果報告

あわらし市国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

1. 概 要

平成30年4月からの国民健康保険制度改正（国保の県単位化）により、県は、市町とともに国保の運営に加わり、制度の安定化を図るために財政運営の責任主体として中心的な役割を担うことになった。また、「福井県国民健康保険運営方針」を示し、市町が担う事務の標準化、効率化、広域化を推進している。市町は引き続き、資格管理や保険税の賦課徴収、保険給付、保健事業を行っている。

あわら市国民健康保険については、平成30年度の平均被保険者数は5,843人で、その財政状況は、歳入総額 3,185,931千円、歳出総額は 3,130,628千円となっている。歳入の主な内訳は、国保税 604,520千円、県支出金 2,192,481千円、一般会計繰入金 197,998千円となっている。一方、歳出の主な内訳は、療養給付費 1,830,977千円、療養費 12,914千円、高額療養費 270,182千円等の保険給付費 2,124,212千円で、これら給付費等が歳出総額の約68%を占めている。

2. 決算状況

第1表 決算収支

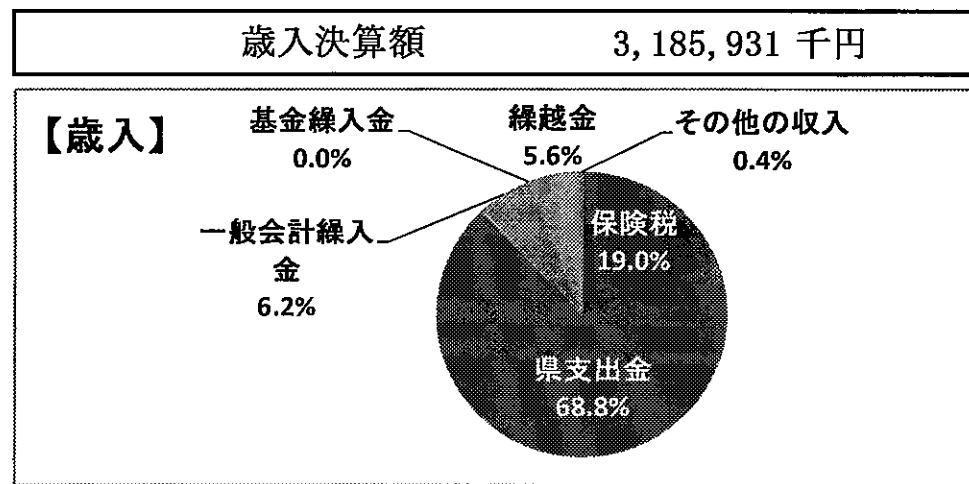
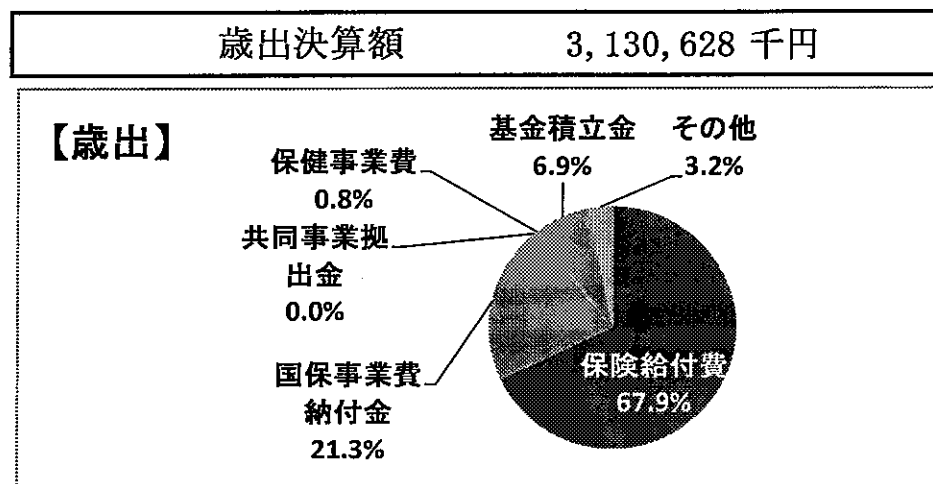
歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引額 (A-B) C	翌年度へ繰越 すべき財源 D	実質収支 (C-D) E	単年度収支 F	積立金 G	繰上償還金 H	積立金 取り崩し額 I	実質単年度収支 (F+G+H-I) J
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
3,185,931	3,130,628	55,303	0	55,303	△ 123,961	215,046	0	0	91,085

第2表 国民健康保険基金

区 分	平成29年度末 現 在 高	平成30年度 積 立 額	平成30年度 処 分 額	平成30年度末 現 在 高
	千円	千円	千円	千円
現 金	308,387	215,046	0	523,433

【成果】平成30年度の実質収支は55,303千円であったが、歳入に179,264千円の前年度繰越金が含まれているため、単年度収支は△123,961千円となっている。
なお、基金において215,046千円を積み立てているため、実質単年度収支は91,085千円となっている。

第3表 決算状況 (科目別)



歳出 (千円)

科目		H30決算額	H29決算額	前年度比較
保険給付費	一般分	2,079,376	2,084,010	△ 4,634
	退職分	34,697	73,407	△ 38,710
	出産育児・葬祭費	4,691	7,027	△ 2,336
	審査支払手数料	5,448	5,098	350
	合計	2,124,212	2,169,542	△ 45,330
国保事業費納付金	医療給付費分	476,320		476,320
	後期高齢者支援金分	144,125		144,125
	介護納付金分	46,255		46,255
	合計	666,700		666,700
	後期高齢者支援金等		330,564	△ 330,564
	介護納付金		118,184	△ 118,184
	共同事業拠出金	1	651,733	△ 651,732
	保健事業費	24,683	21,818	2,865
	基金積立金	215,046	76,934	138,112
	その他	99,986	87,341	12,645
	歳出合計	3,130,628	3,456,116	△ 325,488

歳入 (千円)

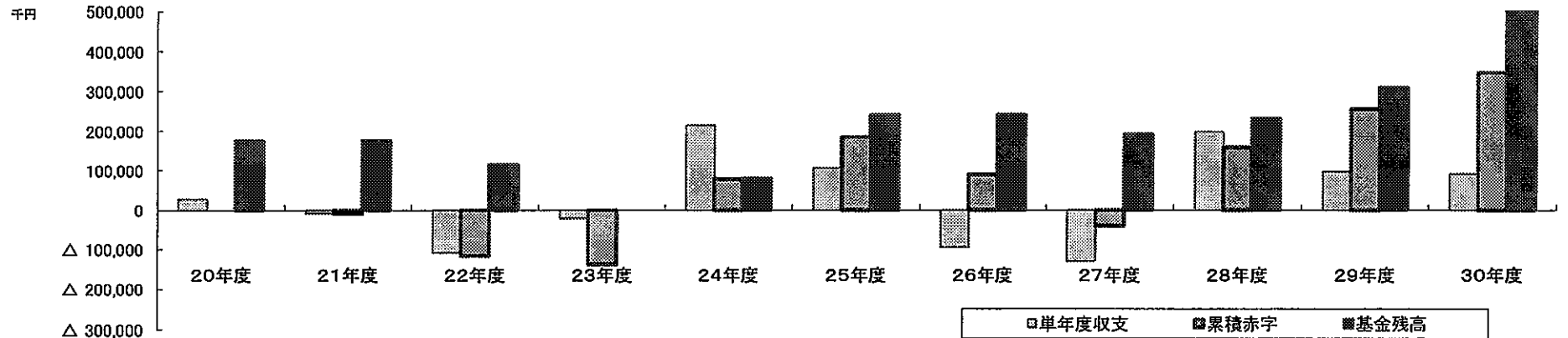
科目		H30決算額	H29決算額	前年度比較
保険税	現年度分	580,575	599,872	△ 19,297
	滞納繰越分	23,945	32,670	△ 8,725
	合計	604,520	632,542	△ 28,022
	国庫支出金	0	644,131	△ 644,131
県支出金	普通交付金	2,119,464		2,119,464
	特別交付金	73,017		73,017
	財政安定化基金交付金等	0	148,119	△ 148,119
	合計	2,192,481	148,119	2,044,362
	前期高齢者交付金		1,076,951	△ 1,076,951
	療養給付費等交付金		92,940	△ 92,940
	共同事業交付金		683,066	△ 683,066
	一般会計繰入金	197,998	187,070	10,928
	基金繰入金	0	0	0
	繰越金	179,264	160,170	19,094
	その他の収入	11,668	10,391	1,277
	歳入合計	3,185,931	3,635,380	△ 449,449

歳入歳出差引額 (繰越金) [実質収支] 55,303

第4表 実質単年度収支と累積赤字、国民健康保険基金の状況

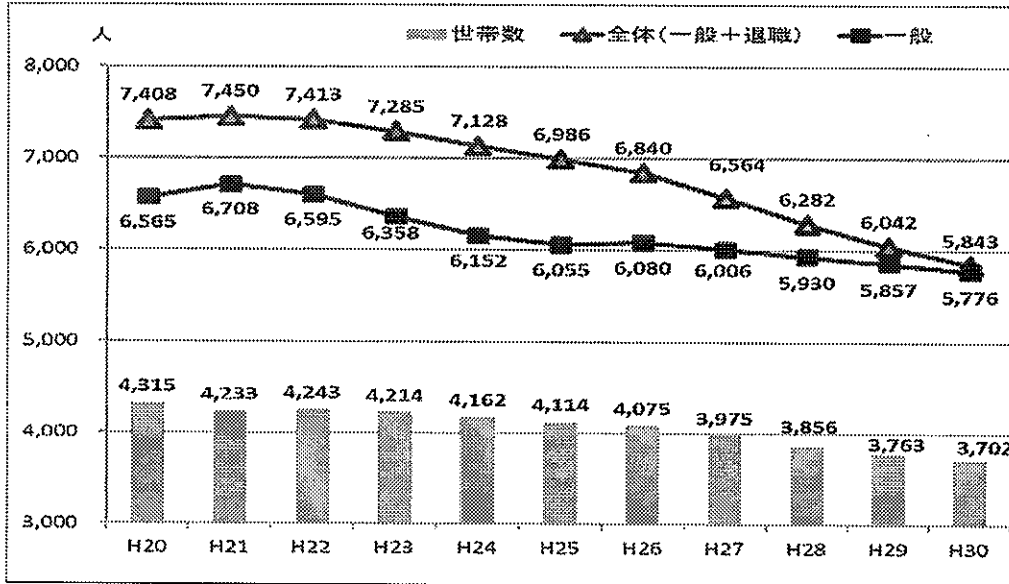
	★税率改定				★税率改定							
	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	
歳入総額 (⑤含む) (7)	2,904,221,581	3,082,555,495	3,070,354,063	3,181,942,917	3,438,264,670	3,377,887,546	3,172,380,222	3,475,362,997	3,637,581,278	3,635,379,785	3,185,931,448	
歳出総額 (⑥含む) (4)	2,845,373,541	3,032,878,413	3,068,314,408	3,085,122,409	3,206,614,864	3,200,447,117	3,090,110,031	3,472,901,990	3,477,411,777	3,456,115,988	3,130,628,206	
当該年度の実質収支 (繰越金) (7)-(4) ①	58,848,040	49,677,082	2,039,655	96,820,508	231,649,806	177,440,429	82,270,191	2,461,007	160,169,501	179,263,797	55,303,242	
前年度の実質収支 (繰越金) ②	32,723,158	58,848,040	49,677,082	2,039,655	96,820,508	231,649,806	177,440,429	82,270,191	2,461,007	160,169,501	179,263,797	
単年度収支 (①-②) ③	26,124,882	△ 9,170,958	△ 47,637,427	94,780,853	134,829,298	△ 54,209,377	△ 95,170,238	△ 79,809,184	157,708,494	19,094,296	△ 123,960,555	
基金積立額 ④	1,012,000	877,000	148,000	196,000	80,000,000	160,184,000	548,000	556,000	40,165,000	76,934,000	215,046,000	
基金繰入金 ⑤	0	0	60,000,000	115,585,000	0	0	0	50,000,000	0	0	0	
実質単年度収支 (③+④-⑤) ⑥	27,136,882	△ 8,293,958	△ 107,489,427	△ 20,608,147	214,829,298	105,974,623	△ 94,622,238	△ 129,253,184	197,873,494	96,028,296	91,085,445	
累積赤字 赤字となった時点から累積する ⑦		△ 8,293,958	△ 115,783,385	△ 136,391,532	78,437,766	184,412,389	89,790,151	△ 39,463,033	158,410,461	254,438,757	345,524,202	
基金残高 ⑧	174,364,000	175,241,000	115,389,000	0	80,000,000	240,184,000	240,732,000	191,288,000	231,453,000	308,387,000	523,433,000	

★H20.4月後期高齢者医療保険制度の導入

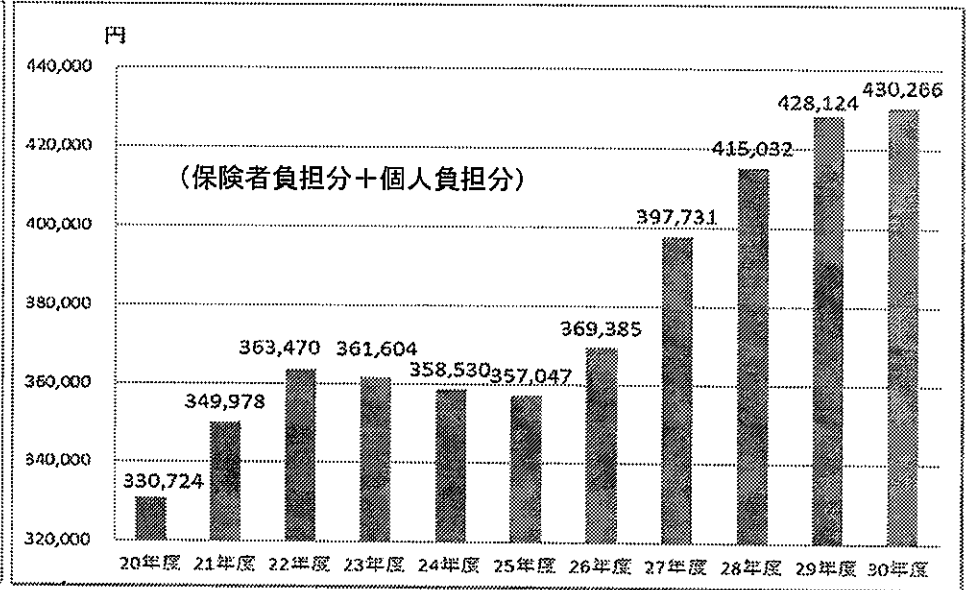


3. 医療費等の状況

(1) 被保険者数、世帯数 (年度平均)



(2) 1人当たり医療費の推移 (年間)



(3) 保険給付費等の状況

区分	平成29年度		平成30年度		対前年度比較	
	件数(件)	保険者負担額(円)	件数(件)	保険者負担額(円)	件数(件)	保険者負担額(円)
療養給付費	84,155	1,863,369,202	84,147	1,816,724,583	△ 8	△ 46,644,619
療養費	2,426	15,228,330	2,222	12,887,444	△ 204	△ 2,340,886
高額療養費	2,976	278,038,454	2,987	269,612,625	11	△ 8,425,829
出産育児一時金	12	5,024,000	7	2,940,000	△ 5	△ 2,084,000
葬祭費	40	2,000,000	35	1,750,000	△ 5	△ 250,000
計		2,163,659,986		2,103,914,652		△ 59,745,334

(※支出済額から、被保険者返納金、第三者納付金を除いた額)

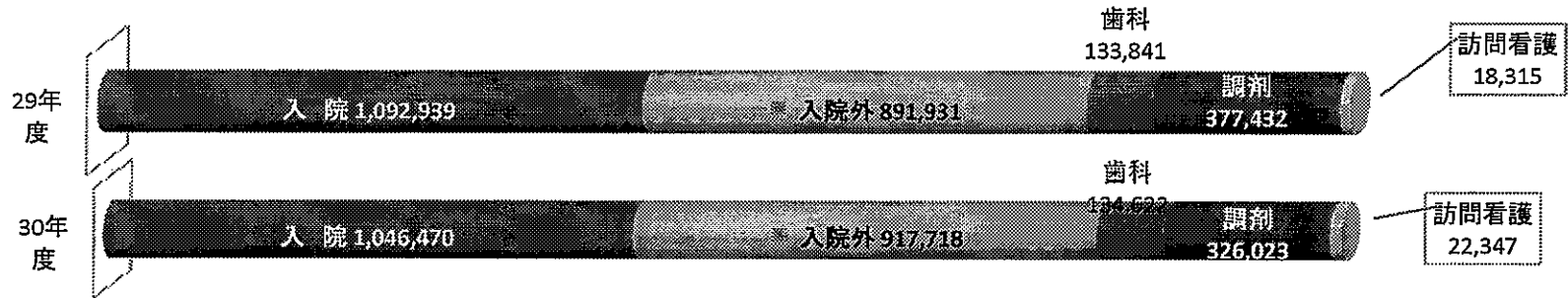
(4) 国民健康保険事業費納付金の状況 (平成30年度～)

区分	平成30年度 決算 (円)
医療給付費分	476,320,028
後期高齢者支援金分	144,125,123
介護納付金分	46,254,668
計	666,699,819

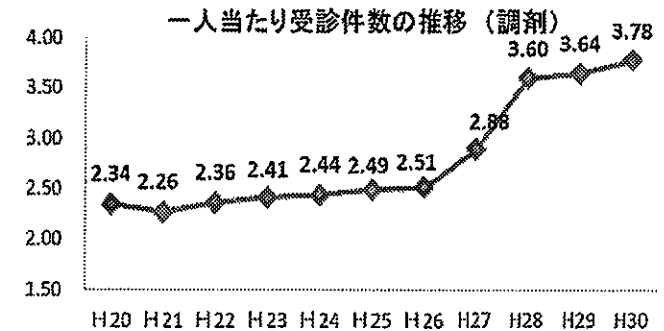
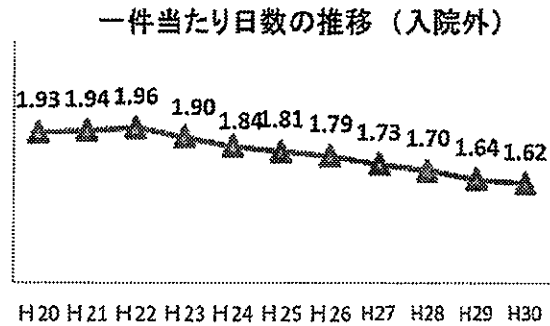
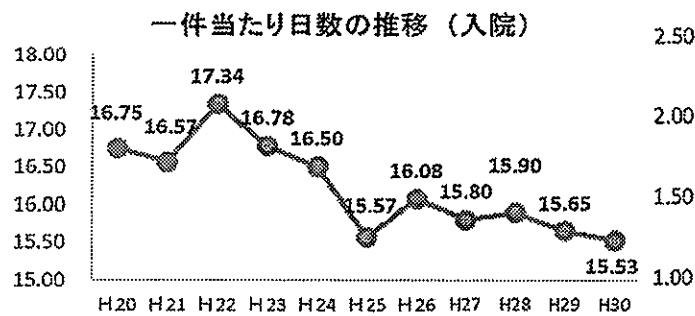
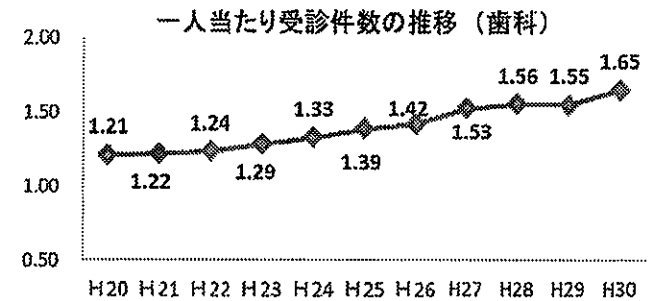
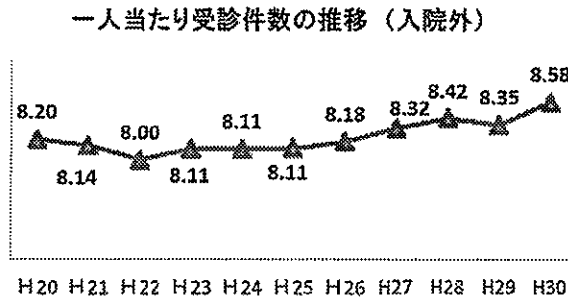
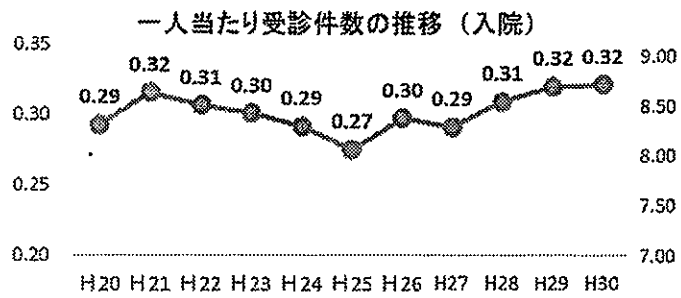
(5) 国民健康保険税賦課状況

		30年度	31年4月～
医療給付分	所得割	6.2%	6.5%
	資産割	29.0%	15.0%
	均等割	30,000円	30,000円
	平等割	22,800円	22,800円
後期高齢者支援金分	所得割	1.7%	2.5%
	資産割	4.0%	
	均等割	7,200円	7,200円
	平等割	5,400円	5,400円
介護保険分	所得割	2.0%	2.0%
	資産割	2.0%	
	均等割	8,400円	8,400円
	平等割	6,000円	6,000円

(6) 療養の給付等内訳 (千円)



(7) 診療費の状況



※ 被保険者数は年々減少しているが、1人当たりの医療費は年々上昇しており、平成30年度においても上昇した。医療の高度化や被保険者の高齢化が主な原因と推測される。

4. 保健事業の状況

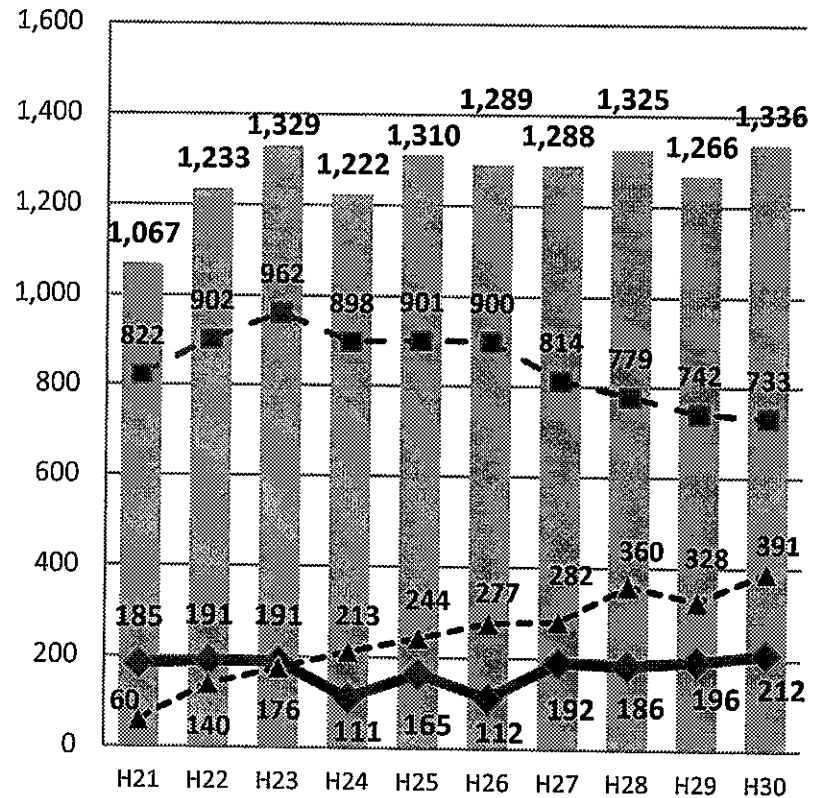
事業名	事業費(千円)	内 容
1. 人間ドック助成事業	5,348	・ 2日ドック 16人 ・ 2日併用ドック 4人 ・ 1日ドック 160人 ・ 脳ドック 13人 ・ 併用ドック 22人 ・ ペット併用 0人 (計215人 11医療機関)
2. 特定健康診査等事業	11,750	特定健康診査委託料 集団健診(733人)・個別健診(391人) 9,379,810円 … 健診情報提供(85人) 212,500円 データ管理委託等 2,093,792円 健康づくり活動支援(国保連補助事業) 64,177円 (在宅保健師による特定保健指導) 基本健診 7,266,340円 詳細健診 641,909円 追加健診 1,471,561円
3. 保健衛生普及事業	1,729	医療費通知書 6回 後発医薬品利用差額通知書 2回 医療費抑制リーフレットの個別配付(証更新時)
4. 国保保健指導事業 (国庫補助事業)	5,857	ア) 特定健診未受診者対策 【1】 8月 1回目受診勧奨通知(対象3,374人) 過去の受診履歴・健診結果・問診票、医療機関受診状況等の分析し、 健康意識・心理特性に応じた勧奨通知を送付。 【2】 10月 2回目受診勧奨及び医療機関受診者向けの通知発送(対象3,260人) 特定健診に相当する診療情報(検査結果)を、医療機関から提供を受ける。 【3】 1月 3回目受診勧奨通知(対象1,700人) 「最終のお知らせ」として、健診未受診者に再度勧奨。 【4】 集団健診予約特典として健康チェック測定を実施。 イ) 健康教育 ・ 生活習慣病予防(糖尿病予防教室) 参加者数 1クール実数 31人 2クール実数 20人 内容: 講習・栄養・運動・休養の4回シリーズ 対象: 健診の結果、血糖値要指導者等 ・ 講演会「10歳若返る!動き方、食べ方、休み方」(参加者数 実数 43人) 対象: 特定健診受診者 内容: 健診結果を活かした生活習慣の改善

【成果】 未受診者対策として、過去の受診歴や問診票、健診結果を分析し、分析結果をもとに健康意識や心理特性に応じた受診勧奨を実施した。その結果、昨年度と比較して、受診率は0.7ポイント向上した。

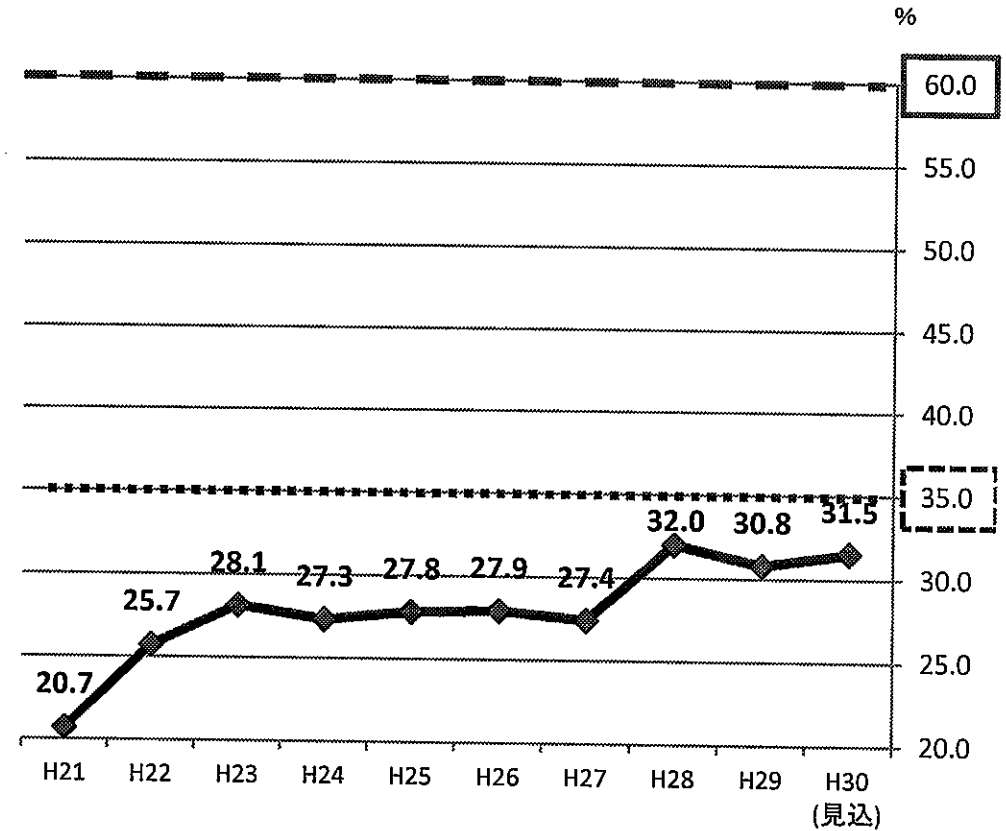
(参考) 特定健康診査等実施状況

○ 受診方法別受診者数の推移

人 ■ 総数(人) ◆ 人間ドック ■ 集団健診 ▲ 個別健診



○ 受診率 (法定報告)



	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
あわら市	20.7	25.7	28.1	27.3	27.8	27.9	27.4	32.0	30.8	31.5
県平均	25.2	27.3	28.4	30.0	30.4	31.2	32.4	32.4	32.9	